



ふねあいのひろば

第24号



コスタリカ40周年記念・市民訪問団派遣（記念植樹）
（後列立者左から6番目がサンホセ市のクラーク市長）

ごあいさつ

会長 野津 喬

会員の皆様におかれましては、平素から当協議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、駐日ブルガリア大使の来岡等を契機として機運が高まったブルガリア共和国プロブディフ市との間で、5月にブルガリア共和国を紹介する「ブルガリアフェアinおかやま」を本市で開催し、天候にも恵まれ多くの市民の方々と賑わったほか、9月には、プロブディフ市をはじめとした欧州諸都市へ岡山市欧州訪問団を派遣し、本市の特産品等を紹介するなど経済面を中心に交流事業が繰り広げられました。

また、姉妹都市締結40周年を迎えたコスタリカ共和国サンホセ市との交流では、昨年11月に駐日コスタリカ大使を本市にお招きするとともに、今年1月から2月にかけて、政令指定都市移行記念ともなる環境交流をテーマとする訪問団を相次いで派遣しました。

一方、富川市との交流では、富川市からのおかやま桃太郎まつりへの訪問団が派遣中止になったことは市民交流の観点から誠に残念なことではありましたが、10月の「おかやま国際音楽祭」へは、昨年に引き続き呉恩領舞踊団が参加されたほか、富川市で初めて開催された「2008富川世界無形文化遺産エキスポ」へは、本市無形文化財保持者の方々の出展とともに、「祝祭訪問団」が訪問し、開幕式に花を添えるなど友好交流をさらに深めることができました。

また、新竹市との交流では、8月に新竹市内百貨店において、「岡山とれたて果物フェアin新竹」が開催される一方、岡山市内百貨店において新竹市のビーフン・ガラス工芸品など特産品を紹介する「台湾新竹市伝統産業フェアin岡山」が開催され、経済面での交流が活発に行われました。また、「おかやま国際音楽祭」へ三民中学校吹奏楽部・民族音楽部の皆様が出演されたほか、11月には、岡山市民親善訪問団の新竹市訪問にあわせて、新竹市民に岡山の観光地や特産品を写真で紹介する「岡山市紹介写真展」が開催され、相互理解を一層深めることとなりました。

さらに、岡山市外国人市民会議での意見や、昨年策定された「岡山市多文化共生社会推進プラン」に基づき、多文化共生社会実現に向けた取組も着実に進展しつつあります。

今年は、昨年の訪問や国交回復50周年を契機に交流が深まるブルガリア共和国プロブディフ市との間で、教育、文化などでの交流行事の開催も計画されているほか、コスタリカ共和国サンホセ市との姉妹都市締結40周年を祝う行事も予定されています。

こうした情勢のもと、当協議会としても、実りある国際交流と国際理解の推進、多文化共生社会の実現に向けて、民間交流といった立場から、積極的な役割を担うことが期待されています。

今後とも会員の皆様方をはじめ、多くの市民の皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●●● 目 次 ●●●

プロブディフ市との交流	1	・岡山とれたて果物フェア・新竹市伝統産業フェア	7
・岡山市欧州訪問団派遣	1	・岡山市民親善訪問団派遣	7
・ブルガリアフェア in おかやま	2	富川市・新竹市～「おかやま国際音楽祭」に参加	8
サンノゼ市との交流	3	・富川市呉恩領舞踊団・新竹市三民中学校吹奏楽部	8
・「岡山ーサンノゼ フレンドシップ・ウイーク」	3	・富川市・新竹市との職員相互派遣	8
サンホセ市との交流	4	岡山市子供海外派遣事業	9
・姉妹都市締結40周年記念岡山市民親善訪問団	4	・サンノゼ市・ペンドルトン市・富川市・新竹市	9・10
・コスタリカ大使来岡	4	友好交流サロン	11
洛陽市との交流	5	・外国語会話教室	11・12
・洛陽市政府友好訪日団	5	・日本語教室	12
・第17回洛陽市技術研修生帰国	5	・「あくら」の発行・メールマガジンの発行	12
富川市との交流	6	・国際交流ふれあい講演会	13
・岡山市剣道交流訪問団派遣	6	ボランティア活躍記	14
・「2008富川世界無形文化遺産エキスポ」に参加	6	ふれあいトピックス	15
新竹市との交流	7	ホットミニ情報	15

プロブディフ市との交流

◎岡山市欧州訪問団派遣 (平成20年9月21日～9月29日)

岡山市とブルガリア共和国プロブディフ市は昭和47（1972）年4月に姉妹都市締結をし、これまでスポーツや音楽など様々な交流を行ってきました。

高谷茂男岡山市長を団長とする岡山市欧州訪問団一行17名は、在ブルガリア日本大使館、在クロアチア日本大使館等の協力を得て、プロブディフ市内、在ブルガリア日本大使公邸、在クロアチア日本大使公邸等において、現地政府・経済関係者等を招いて、岡山市の特産品（農産物、工業製品等）を紹介する「おかやまのタベ」や経済セミナーを開催し、岡山への理解を深めてもらうとともに、今後の交流の拡大を目的にブルガリア共和国及びクロアチア共和国を訪問しました。

訪問団一行は、9月21日に岡山空港を出発。9月23日には、プロブディフ市役所においてスラフチョ・アタナソフ市長を表敬訪問し、経済分野などの新たな交流について意見交換が行われました。また、この日午後には国際見本市会場において「経済セミナー」を開催。岡山商工会議所副会頭及びヨーロッパでも活躍する企業から岡山の経済情勢や製品の紹介などを行いました。夜には、プロブディフ市内のレストランにおいて「おかやまのタベ」が開催され、岡山の企業の協力による繊維製品や工業製品などの展示のほか、マスカットや岡山の食材などを使ったバラ寿司や日本酒などを提供し、岡山のPRを行いました。



プロブディフ市長表敬



経済交流セミナー



おかやまのタベ in プロブディフ

24日には、竹田恒治在ブルガリア日本大使を表敬訪問。大使公邸において、「経済セミナー」及び「おかやまの夕べ」を開催しました。



経済交流セミナー



おかやまの夕べ in ブルガリア
(右が竹田大使)



岡山ばらすしの食事の様子

また、26日には、クロアチア商業会議所で「経済セミナー」を、岡山市出身の白川哲久在クロアチア日本大使公邸では、「おかやまの夕べ」を開催しました。



経済交流セミナー



おかやまの夕べ in クロアチア
(右から2番目が白川大使)



マスケットなど食事の様子

その後一行は、ウィーンを経由して、29日には岡山空港へ到着しました。

本訪問団では、経済セミナーを通じてプロブディフ市をはじめブルガリアやクロアチアの政府・民間経済関係者へ岡山の経済環境や特産品などを紹介し、また参加者からは医学や食品分野での新たな交流への提案がなされ、またワインや日本酒の輸出入への可能性が広がるなど新たな交流分野での拡大が見られました。また、「おかやまの夕べ」では、マスケットをはじめ岡山の食材や繊維・工業製品を持ち込んで紹介し、日本食ブームや日本製品の優秀性を背景に多くの人から好意的な意見や質問などが寄せられ、大きな成果を得ることができました。

◎ブルガリアフェア in おかやま (平成20年5月17日～5月18日)

プロブディフ市をはじめとしたブルガリア共和国の特産品などを紹介するブルガリアフェアを開催しました。ブルガリアの特産品の紹介・販売やブルガリアの民族舞踊の実演のほか、ブルガリアワインの試飲などを実施し、市民のみなさんにブルガリアを身近に感じていただけるまたとない機会となりました。

ステージイベント



民族舞踊の披露



特産品の紹介・販売



ワインの試飲



サンノゼ市との交流

◎「岡山-サンノゼ フレンドシップ・ウィーク」(平成20年3月23日～29日)

岡山市・サンノゼ市姉妹都市締結50周年を記念して、サンノゼ市から訪問団35名が来岡されました。滞在期間中を「岡山-サンノゼ フレンドシップ・ウィーク」として、記念式典や祝賀会、点灯式、講演会開催など様々な記念行事を行いました。

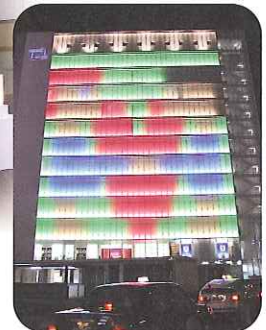


記念式典

記念プレートの贈呈
(左がサンノゼ市議会議員
フォレスト・ウィリアムズ氏)



祝賀会



記念電車の運行

市内の路面電車「KURO」に車体装飾や車内へ50周年の交流写真を掲示し、PR。

ライトアップ点灯式

岡山駅前ターミナルスクエアビルの壁面に50周年にちなんだデザインをライトアップ。市内の小学校児童から応募のあった870点の中から、最優秀賞のデザインを採用。



記念講演会

「新しい大都市ーアメリカ・サンノゼから学ぶ」をテーマに開催。サンノゼ市のNGOシリコンバレーボランティアセンター事務理事ステファン・クイグリー氏による基調講演のほか、各種報告を行った。

サンホセ市との交流

◎岡山市政令指定都市移行決定記念及び岡山市・サンホセ市姉妹都市締結40周年記念 岡山市民親善訪問団 (平成21年1月31日～2月8日)

本市とコスタリカ・サンホセ市が昭和44年1月に姉妹都市縁組を結んでから今年で40周年の節目を迎えたことなどを記念して、市民親善訪問団が1月31日から2月8日の間、サンホセ市などを訪問しました。訪問団は、高谷茂男市長を団長、宮武博市議会議長を副団長とする市民ら総勢23名。

両市の姉妹都市締結30周年を記念し、本市の多くの市民、団体の方々から寄せられた寄付金をもとに建設されたサンホセ市岡山公園で開催されたサンホセ・岡山姉妹都市締結40周年フェスティバルでは、訪問団全員による日本の歌や踊りが披露され、サンホセ市の多くの老若男女がその輪の中に加わって交流し、両市長をはじめ関係者による記念植樹も行われました。



フェスティバルの様子



クラーク市長から名誉訪問者証を受け取る

また、サンホセ市長表敬訪問では、高谷市長から岡山公園を通じて両市の交流をさらに深めるための協力を申し出るとともに、持続的な交流に向け環境分野などで実りある交流を進めることを呼びかけました。これに対しクラーク市長は、経済分野での交流を進めることで文化的、社会的な利益を増進させ、お互いに助け合っているような関係をつくっていききたいと挨拶されました。

さらに、在コスタリカ大使館特命全権大使主催の記念祝賀会では、コスタリカ大地震による被災者のための緊急家屋を建設するプロジェクトに取り組むサンホセ市内のNGOに、また野鳥の楽園と言われるコスタリカで、絶滅危惧種に指定されているヒワコンゴウインコの営巣木の保護活動に取り組む団体に対し、それぞれ岡山市民からの寄付金を贈呈しました。

その後、モンテベルデ自然保護区やアレナル火山国立公園などを視察し、熱帯雲霧林のエコツアーでは、ケツァールなどの色鮮やかな野鳥をはじめ多様な生物の生息する様子を間近に観察することができました。

このほか40周年記念事業の一環として、「環境交流訪問団」による現地での学術交流も行われ、今回の両訪問団の派遣を通じ、政令指定都市岡山とサンホセ市との間で、今後実りある交流につなげていくことが期待されます。



森に住む色鮮やかな鳥

◎「コスタリカ大使来岡」 (平成20年11月23日)

コスタリカ交流協会等との共催により、マリオ・フェルナンデス駐日コスタリカ大使ご夫妻をお迎えし市内のルネスホールで講演会・歓迎レセプションを開催しました。



大使夫妻が岡山市長表敬



ルネスホールにて歓迎レセプション

洛陽市との交流

◎洛陽市政府友好訪日団 (平成20年11月26日～11月27日)

本市と洛陽市とは、昭和56年4月の友好都市締結以来、学術・文化・芸術・経済等の幅広い分野において交流を行っています。このたび、郭 洪昌（かく こうしょう）洛陽市長を団長とする「洛陽市政府友好訪日団」一行6名が岡山市を訪問しました。一行は岡山滞在中、市内の福祉、環境施設などを視察しました。



岡山市長表敬（真ん中が郭市長）



当新田環境センター視察



市内福祉施設視察

第17回 洛陽市技術研修生帰国

曲 紅昇（きょく こうしょう）

所 属：洛陽理工学院芸術学院副教授
 研修期間：平成19年10月15日～20年9月27日
 研修分野：CGデザイン、日本語

「1年間あっという間でした。この1年間さまざまな珍しい経験をもらいました。そのうるわしい時期は本当に懐かしいです。ここにはつまらないCG作品があります。美しい研修生活の思い出とします。そして、皆様いろいろなとお世話になりました。本当に心より感謝します。洛陽は岡山と同じ、きれいな都市ですよ。ぜひ洛陽で逢いましょう。」

（ほぼ原稿のまま）



富川（プチョン）市との交流

◎岡山市剣道交流訪問団派遣（平成20年9月23日～9月25日）

平成14年2月両市の友好締結以来、市民訪問団の相互派遣、職員相互派遣、文化・芸術・スポーツなど多くの分野で民間、行政交流を行ってきています。今回は市の職員からなる岡山市剣道訪問団17名を派遣、富川市剣道部との交流を通して、市民レベルでの交流をさらに深めることができました。



岡山市・富川市合同稽古会



富川市政府への表敬訪問



◎「2008富川世界無形文化遺産エキスポ」に参加（平成20年10月9日～10月11日）

富川市で開催された「2008世界無形文化遺産エキスポ」に岡山市から無形文化財保持者山口松太氏（漆芸）、小川一洋氏（木工芸）、平松龍四郎氏・石原文雄氏（撫川うちわ）の4名が招聘を受け、また、同エキスポの開幕式に参加するため、岡山祝祭訪問団を派遣しました。



出発前に岡山市長を表敬する無形文化財保持者の方々
右から山口氏、小川氏、平松氏、石原氏



盛大な開幕式



うちわの制作工程を披露

新竹市との交流

平成15年4月の友好交流協定締結以来、様々な分野において双方の市民交流が広がっています。今年は昨年を引き続き6回目の「岡山市民親善訪問団」（佐古親一副市長を団長とする総勢24名）を派遣し、滞在中、新竹市美術館・開拓館で開催した「岡山市紹介写真展」のオープニングにも参加しました。また、今年の1月に岡山市・新竹市友好都市議員連盟と新竹市長との間で、両市の特産品の販路拡大のための相互支援を確認する協議書を交わしたことに伴い、8月に新竹市において岡山産のマスカット・ピオーネ・白桃・メロンなど農産物をPRすることを目的とした「岡山とれたて果物フェアin新竹」が、10月には岡山市において「台湾新竹市伝統産業フェアin岡山～ビーフン・肉団子・ガラス工芸の魅力～」がそれぞれ開催されました。

◎「岡山とれたて果物フェア in 新竹」(平成20年8月6日～8月15日)



オープニング
(右から3番目が林新竹市長、4番目が
安井岡山市新竹市友好都市議員連盟会長)



地元のメディアによる取材



岡山の果物が大人気

◎「台湾新竹市伝統産業フェアin岡山」～ビーフン・肉団子・ガラス工芸の魅力～

(平成20年10月18日～10月19日)



地元のデパートにてテープカット



ビーフン・肉団子の試食コーナー



ガラス工芸品コーナー

◎岡山市民親善訪問団派遣(平成20年11月12日～11月15日)



(左上) 写真展のオープニング
(左下) 写真展の様子



訪問団のメンバー



市長表敬
(左が佐古副市長、右が林新竹市長)

◆富川市・新竹市～「おかやま国際音楽祭」に参加（平成20年10月4日）

富川市呉恩領舞踊団計8名、新竹市三民中学校吹奏楽部・民族音楽部生徒、教職員および新竹市職員計26名が10月4日に開催された「おかやま国際音楽祭」のオープニングフェスティバルに出演するため来岡しました。また、音楽祭前日には市内の学校で交流行事が行われました。

岡山中央中学校との交流



音楽祭での踊り



音楽祭での演奏



山陽中学校との交流

◆富川市・新竹市との職員相互派遣

「文化都市・経済先進都市 富川市にて」

伊藤 嘉孝

研修期間：平成21年2月15日～3月31日

研修分野：市政全般、民間委託など

富川市は人口86万人を越す韓国有数の大都市で、経済活動や文化振興などにおいて韓国国内で中心的な役割を果たしている、陽気多情のあつい活気に満ちた地域です。



富川市役所の前にて

韓国への訪問は、初めての体験で訪韓日当初、大変緊張した際に温かく迎えていただいた事が、とても嬉しく感じました。

岡山市政に対しても興味を抱いていただき、政令市移行に伴う高谷市長の指導力と情熱、市職員が持つモチベーションの高さを絶賛していただき、岡山市職員として大変誇りに思える言葉をいただきました。

富川市職員の皆様も、仕事に対する情熱は大変深いものがあり、どの職場をお尋ねした際でも、大変、熱の入ったご説明を承り本当に感銘を受け、併せて温かく迎え入れてもらえていることが、洪市長はじめ富川市職員の皆様に言葉では尽くせぬほどの感謝に満ちています。

公私にわたり、富川市の方々に助けられ過ぎず毎日でした。このような温かい富川市との国際友好交流都市であることに幸せを感じ、今後も、両市政の発展に寄与できるよう切磋琢磨していきたいと考えています。

「新竹市にて」

中田 久美子

研修期間：平成20年9月19日～12月17日

研修分野：税務、健康保険業務、福祉業務など

新竹市は古くからの歴史的建造物を多く残し、文化保護に熱心に取り組む一方、IT産業の突出したサイエンスパーク（科学園区）を持ち、現在では台湾のシリコンバレーとまで呼ばれている文化と産業の融合した都市です。

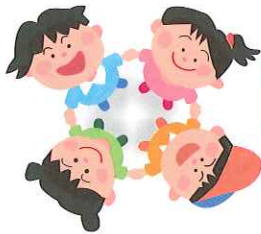
期間中はいろいろな部署で研修を受けさせていただきましたが、税務の研修では、警察との連携や滞納者に対する罰則など日本にはない制度についても勉強することができとても有意義な研修となりました。

しかし、何といたっても研修生活の中で私が一番感じたのが市民の方の温かさです。中国語も満足に話せない中、単身で生活をしている私のことを多くの方が気遣ってください、公私ともに助けられました。市政府の方は自分の携帯電話を3ヶ月間も無料で貸して下さったり、寒い日には暖かい服を貸して下さったり、たくさんの方が日本語で話しかけてくださいました。見ず知らずの私のことを温かく迎え入れてくれた彼らに対する感謝の気持ちは言葉では言い切れません。そしてこのような経験をしていく中で、私自身も新竹市のことをとても好きになりました。

お世話になった皆様の顔を思い浮かべながら、これからも両市の友好発展に寄与できたらと思います。



移民署研修にて右端が中田さん



岡山市子供海外派遣事業

今回で13回目となる岡山市子供海外派遣事業では、アメリカ・サンノゼ市及びペンドルトン市、韓国・富川市、台湾・新竹市の国際友好交流都市に岡山市内在住の中学2・3年生を派遣しました。生徒達は、計3回行われた事前研修会で、ホームステイのマナーやそれぞれの訪問先の言語による会話等の指導を受けました。派遣先では一般家庭にホームステイし、文化研修や市内視察をするなどして、理解と交流を深め、観光旅行では得られない国際的視野を広めるとともに、将来につながる交流の輪を広げました。

San Jose



サンノゼ市 (アメリカ)
ペンドルトン市 (アメリカ)
派遣人数: 10名
派遣期間: 7月22日~31日



ロック・ソーラン!



全員揃って記念写真



ネイティブアメリカンの遊びを体験

それっ! とんでけっ!



Pendleton



漫画美術館にて記念写真

Bucheon



富川市 (韓国)

派遣人数: 10名

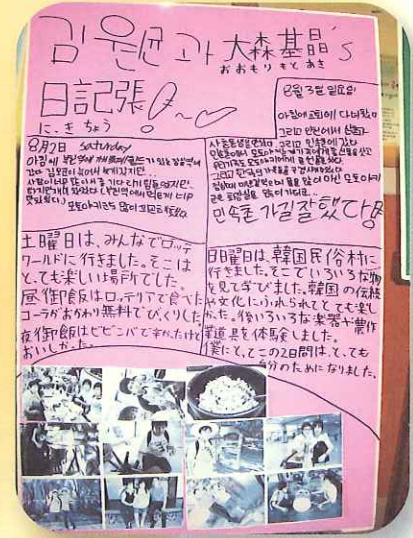
派遣期間: 7月29日~8月6日



韓国民芸品作りを体験



テコンドー体験



日本語とハングル両方で書いた
発表カード

Hsinchu



新竹市 (台湾)

派遣人数: 10名

派遣期間: 7月22日~30日



新竹市東門城の前にて記念写真



林新竹市長からの温かい歓迎のご挨拶



肉団子作りに挑戦



ガラス工芸工場を見学

おいしくできたかな...

友好交流サロン

外国語会話教室

外国語会話教室では、「ハングル」(入門・初級)、「スペイン語」(入門・初級)、「中国語」(入門・初級)、「シニア英会話」(火曜・水曜・金曜)の9教室で、20代から70代までの幅広い年齢層の方々が勉強しています。クラスごとに発表会を行ったり、その国の祝日にあわせて特別授業を企画したりするなど、講師の方々が工夫してくださっています。



ハングル(入門)

尹 甲辰 先生

「알았다!」「말할 수 있어!」라는 경험을
만끽하면서 잘 공부합니다.
「分かった!」「話せる!」という喜びを
満喫しながら、じっくり勉強しましょう。



ハングル(初級)

金 良禧 先生

한국어
즐겁게 공부해요~!
韓国語 楽しく勉強します~♡



スペイン語(初級)

光宗・エミリア・恵美子 先生

¿Quieres hablar en español?, ¡¡¡ven! ¡
スペイン語で話しませんか?
いらっしやい!



スペイン語(入門)

グラディス・エステル・パレンスエラ・カルカモ 先生

¡Hola!
Queridos amigos
Vamos a estudiar juntos
español.
こんにちはDear friends → みなさん
一緒にスペイン語を勉強しましょう!



中国語(入門)

河田 治 先生

学汉语, 和中国人交流吧!
中国語を勉強して、中国の人と交流しましょう!



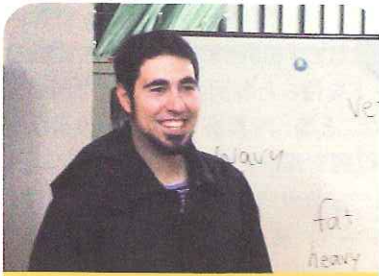
中国語(初級)

周 暢 先生

轻松愉快, 学汉语!
楽しく中国語を勉強しましょう!



英会話クラスのハロウィンパーティー



シニア英会話(火曜)

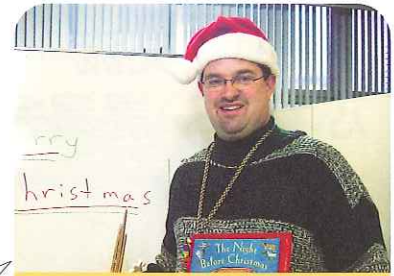
ボビー・ジョー・ジフレ 先生

Express yourself
in English.

英語で自己表現をしてみよう!

"Practice makes perfect."
Let's try to learn
a lot
together joyfully!

"Practice makes perfect."
一緒に楽しくいっぱい学びましょう!



シニア英会話(水曜・金曜)

スティーブン・アンソニー・ラングレイ 先生

「あくら」の発行



研修視察のため、宝福寺へ



岡山生活情報紙「あくら」

9名のボランティア編集委員が外国人市民にもっと岡山のことを知ってもらおうと、年に4回5ヶ国語で発行している外国人向け情報紙「あくら」の編集を行っています。

「あくら」は岡山市のホームページからご覧いただくこともできます。

http://www.city.okayama.jp/shimin/kokusai/salon/akura/akura_index.htm

メールマガジンの発行

友好交流サロンの情報を月に1回登録者に配信しています。

インターネット無料サービス

外国人の方を中心に、毎日たくさんの方に利用されています。

外国語書籍の閲覧と貸し出し

英語・中国語・ハンガルなどの外国語書籍を無料で貸し出ししており、ご好評をいただいています。

日本語教室

無料で受講できる「西川日本語教室」(毎週木曜日午前、午後、夜間の3コース)、「京山公民館教室」(毎週土曜日午前)と「岡輝公民館教室」(毎週月曜日午前)の3つの教室を開催しています。約25名のボランティアの先生と1日約150名の受講生が楽しく勉強しています。受講生たちは少しでも早くたくさんの言葉を身につけようという気持ちで通っています。



朗読の声と笑い声の絶えない教室(写真は西川日本語教室にて)



国際交流 ふれあい講演会

平成20年度「国際交流ふれあい講演会」は、4月、3月を除いて月1回、計10回開催しました。10月の講演会は、協賛事業として「第5回おかやま国際貢献月間」にも参加しました。様々なバックグラウンドを持った各国の講師が、母国の文化、価値観、生活の様子や日本に来て感じたこと等、内容盛りだくさんの講演を日本語でしてくださいました。どの講師も「母国や滞在した国をぜひ日本の人々に紹介したい」という熱意にあふれていました。この講演会を一つのきっかけとして、岡山市民と外国人市民との相互理解がより一層深まることを願っています。

5月

りゅう けい
劉 迎さん

「岡山の児童文学と
国際交流」



6月

アクター・ラヘナさん

「日本と Bangladesh の
子育ての違い」



7月

ネネ・タンジャさん

「セネガル流
おもてなしの心」



8月

ザズリ・ビン・モヒドさん

「マレーシアって
どんな国？」



9月

きむ きゅうたく
金 奎卓さん

「であい・ふれあい・
みとめあい」



10月

グラディス・エステル・
バレンスエラ・カルカモさん

「美しいチリ
-CHILE CHILE LINDO」



11月

ナジマ・ジャンジュアさん

「私の旅路
-日本という新天地へ」



12月

ナタリア・
ベレゾフスカヤさん

「ロシアの保育士が見た
幼児教育日露の違い」



1月

むとう りえ
武藤 理恵さん

「幸せをわけあう国
ブルガリア」



2月

やすい みなこ
安井 美那子さん

「絶対不能忘記我的留学
~忘れられない洛陽留学生活~」



ボランティア活躍記

「少しずつ近く身近に」

ボランティア通訳 ^{かねしげ}金重 ^{まいこ}麻衣子



ナデジュダ・ペトロヴァ（通称ナデヤ）さんと金重さん（左）

JICAの活動を終えてブルガリアから帰国して半年。RSKパラ園での「岡山ブルガリアフェア in 岡山」での通訳を依頼され、帰国後全く使っていないブルガリア語に不安を覚えつつも「全く言葉の通じないところで少しでもブルガリア語を知っている人がいればそれだけでほっとしてもらえるかもしれないし…」と他のOB達と出かけました。駐日本ブルガリア大使、姉妹都市プロブディフの知事夫妻、市長夫妻、バラの女王、日本語弁論大会の優勝者。ブルガリアの人達のにぎやかな明るさは、日本語教師として過ごした2年間を鮮やかに思い出させてくれました。在日本ブルガリア大使館の広報担当、ダニエラ・ニコロヴァさん（通訳は彼女がいたので安心でした）とは顔見知りでしたし、何と云っても嬉しかったのは、弁論大会優勝者のナデヤさんと再会できたこと。遠いブルガリアでこつこつと日本語を勉強する学生達の情熱を思い出しました。

手作りのプレゼントやブルガリア語の挨拶を準備してきた市民の方々がおられたのも印象的で、お役に立てたかどうか分かりませんが、こうして少しずつ人と人との触れ合いで距離が近づいていくといいなと思いました。



担当するクラスの受講生たちと
（右から3番目が加納さん）

「日本語で国際交流」

ボランティア日本語教師 ^{かのう}加納 ^{なおこ}直子

毎週木曜日の夜、仕事や学校を終えた受講者たちが友好交流サロンに集まって来ます。年齢も出身地も様々ですが、1時間半の授業を、助け合いながら楽しく過ごしています。

ボランティアの日本語教室というと日本語を教えている印象しかないでしょうが、実はそれだけではありません。私が知らなかった岡山情報を教えてもらうこともしばしば。こんな所がありますよ、とその様子や場所を、教科書を使って練習した時よりも生き生きと説明してくれます。

もちろん「岡山市のゴミの出し方が変わります」などの生活情報も紹介しますが、その後は「各国ゴミ事情・おもしろエピソード大会」。風邪をひいている人がいたら自分の国の民間療法を教えたり、遠く離れた国の迷信に意外な共通点を発見したり…。私も含め受講者は、日本語を使って、日本だけでなくいろいろな国の文化を知ることができます。

いろいろな国の人が集まって日本語でおしゃべりしている様子は、まさに国際交流。受講者は皆、日本人の友達をほしがっています。多くの市民の皆さんが彼らと交流を持ってくださることを願っています。もちろん日本語で！

サンタクララ吹奏楽団来岡

本市の国際友好交流都市であるサンゼ市のあるサンタクララより吹奏楽団90名が来岡、シンフォニーホールで岡山学芸館高等学校吹奏楽部と合同演奏会をしました。



(平成20年4月16日)

EU加盟5か国の大使・外交官が岡山市訪問

EU加盟5か国の外交官と駐日欧州委員会代表部関係者が市内中学校で交流行事に参加したほか、スロヴァキア大使及びデンマーク大使館参事が岡山市長を表敬訪問しました。



(平成20年5月8、9日)

岡山市外国人市民会議(第2期)

岡山市外国人市民会議(第2期)は、外国人市民の意見や要望を市政に反映させ、市民間の相互理解、多文化共生の実現並びに市政の発展に寄与することを目的としています。委員は公募で選ばれた委員10名で構成されており、今年度は計5回の会議が開かれ、命に関わる問題をテーマに「医療・災害」などについて話し合われました。



ホットミニ情報

- オランダ総領事が岡山市内表町商店街とオランダ通りを中心に開催される「オランダフェスティバル2008」のPRで来岡し市長表敬をしました。(平成20年4月18日)
- 岡大到留学したご主人とともに岡山に1年間滞在経験があるジセル・ベレイダさん(コスタリカ在住)が、31年ぶりに思い出深い岡山を再訪したのを機に市長表敬をしました。(平成20年4月22日)
- コスタリカ展@アスエコ「エコツーリズムのふるさとコスタリカ・モンテベルデ」開催(平成20年6月23日～7月12日)
- 加計学園招聘「訪日文化研修団」40名が岡山市長を表敬訪問しました。(平成20年7月1日)
- 岡山ひかりライオンズクラブ及び岡山旭ライオンズクラブ受け入れの海外学生(トルコ共和国、チェコ共和国)が岡山市長を表敬訪問しました。(平成20年7月18日)
- 岡山市少年サッカー連盟韓国・富川市遠征団の市長表敬訪問(平成20年7月30日)
- グアム子ども親善大使が来岡し、市長を表敬訪問しました。(平成20年8月4日)
- 台湾新竹市を訪問・滞在する岡山県立興陽高等学校修学旅行一行が市長を表敬訪問しました。(平成20年9月3日)
- コスタリカ共和国サンホセ市職員ラウレンス・モリナ・シバハさんが車いすマラソンに参加するため、来日し、岡山滞在中、市内の障害者福祉施設を訪問、入所者の方々との交流を行いました。(平成20年11月12日)
- オランダ王国大使館から本市で開催される「第26回全国都市緑化岡山フェア」(3月20日～5月24日まで開催)の会場植栽用としてチューリップ球根1万球が贈呈されました。(平成20年11月9日)

岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1 岡山市役所国際課内
 TEL: 086-803-1112 (直通) FAX: 086-225-5408
 E-mail: kokusaika@city.okayama.jp
 URL: http://www.city.okayama.jp/shimin/kokusai/index.htm

〒700-0903 岡山市北区幸町10-16 西川アイプラザ4階・友好交流サロン内
 TEL: 086-234-5882 FAX: 086-234-5878
 E-mail: oifa@po1.oninet.ne.jp